

長峰公園内の石碑紹介①

長峰公園内には、十六基の石碑があります。中には、句碑や歌碑、そして顕彰碑など、八基が含まれています。今回から、その中でもぜひ皆さんに紹介したい石碑について、四回にわたり紹介していきますので、公園を訪れた際には足を止めていただければ幸いです。



設置場所：西側駐車場トイレ近く

① 荒井英一先生顕彰碑
(平成三年十一月建立)
この記念碑は、杉山吉伸画伯(さくら市在住)によるデザインです。作曲家にふさわしくグラウンドピアノをかたどったもので、鍵盤も彫られています。

ます。また、土台には荒井先生愛用の指揮棒が埋められています。
作曲家・荒井英一先生は大正十五年二月十四日に住吉荘本店で十人兄弟の長男として生まれしました。昭和二十年の暮れにNHKのご自慢大会に合格、音楽の勉強に励み、後に作曲家に転じました。



設置場所：①の荒井英一先生顕彰碑より約20メートル南の林の中

昭和三十九年には集団就職者にとっては思い出し深い「あ、上野駅」が大ヒットし、作曲家としての地位を不動のものにしました。
以来、三千曲にも及ぶ歌を発表、昭和六十年には全国大衆音楽家協会の会長に就任しました。矢板市の歌、矢板音頭など本市にまつわる歌の数々も手掛けられました。しかし、平成二年十一月に六十四歳の若さで亡くなりました。

② 川俣瑞穂先生句碑
「母の日のつつじの雨となりけり」
(昭和六十三年七月建立)
この句碑は、市制三十周年を記念して、瑞穂俳句会によって建立されたものです。雨の降る長峰公園で、亡き母を慕う川俣先生の切実なる思いが込められています。
本名は川俣瑞男、大正二年に宇都宮市で生まれ、昭和四十四年に矢板保健所長に就任しました。
以来、昭和五十七年に退職されるまで、公務のかたわら、俳句や俳画の指導にあたり、矢板市の文化向上に尽くされました。平成六年八月に館山市でご逝去。
勲三等瑞宝章・瑞穂会主宰・俳人協会会員・矢板市文化協会元顧問

県民の森をもっと楽しもう

県民の森は自然豊かなところで、子どもから大人まで楽しむことができます。春は新緑、カタクリやキクザキイチゲなどの花々、初夏には瑠璃色のオオルリ、黄色が目立つキビタキが宮川渓谷できれいな鳴き声を聞かせてくれますし、ギンリョウソウ、レンゲショウマなどの花々も見られます。秋は紅葉、冬は宮川の氷結が見られます。
「森林展示館」は、観て聴いて触れることができる体験型展示施設。「マロニー昆虫館」は蝶やクワガタ、カブトムシといっ

た昆虫の標本などがあります。また、野鳥・虫・草木などを紹介してくれる自然案内人も常駐しています。
イベントも盛りだくさん。毎週土日祝日にはネイチャークラフト、そのほか毎月二回、イベントを開催しています。野鳥観察、ツツジトレッキング、ツリークライミング、昆虫観察、キャンプファイヤーなど、季節ごとに楽しむことができます。私は県民の森のボランティアで子どもたちの見守りをしています。安心してご参加ください。詳しいことを知りたい方は、県民の森 43-0479に電話してください。
(T・H)

記者の矢板おすすめスポット!

私のいち押し「華昌」のビッグ餃子
気が付けば、虫の音の輪唱が心地よい秋到来…。食欲の秋ですね。長雨続きの夏でしたが、何とか踏ん張れたパワーをもらったお店を紹介したいと思います。
私のいち押し「華昌」のビッグ餃子。餃子の皮に、ニンニクと具がたっぷり入っており、焼き立てを頬張るとジューシーで、口の中で幸せが踊ります。(※大きいので、一口では無理です。)

私が二十年以上前から通う「華昌」さんは、店内に入るとおかみさんの優しい声が響くラーメン屋さんです。四十種類のメニューが楽しめますが、私のいち押しは、通常の二倍(十七センチ以上)はある、こごでしか味わえないビッグな餃子です。
自家製のモチモチ



さらに、一人前五個からテ子をつけて頼めます。なお土産として持参した時にはとても喜ばれました。
お店は市役所方面から富田アンダーをくぐってすぐ左側にあり、営業時間は午前十一時十五分から午後三時まで。皆様も安くてうまい、ビッグな餃子をお試しあれ!
(M・W)

(編集後記) “矢板が元気になる何かをしよう!” との呼びかけでスタートした「やいた花火大会」も今回の開催で11回目。この時期、秋空に咲く大輪の花、ドーンというお腹に響く花火は、矢板の秋の風物詩となった。この花火大会を継続できたのも、市民、企業、中高生らの汗と知恵があつたことである。ボランティアの方々の努力に感謝しつつ、来年もさらにその先も続けてほしいと願うのは私ばかりではないだろう。(T・M)